

令和4年度 第1回太宰府市障害者施策推進協議会 議事録（要約）

○日時

令和4年10月11日（火）18:30～19:45

○場所

太宰府市役所3階庁議室

○協議事項

議題1 第5次太宰府市障がい者プランの進捗状況について

議題2 太宰府市障がい福祉計画（第6期）及び障がい児福祉計画（第2期）の進捗状況について

○内容

■委嘱状交付

■副市長挨拶

■委員自己紹介

■事務局自己紹介

■会長・副会長選出

■傍聴人入室（傍聴1人）

■議事

「太宰府市障害者施策推進協議会規則」に基づき、議事進行を会長が行う。

第5次太宰府市障がい者プランの進捗状況について

説明

事務局）

（配布資料「第5次太宰府市障がい者プラン取り組み計画書・報告書」の内容について抜粋して説明）

意見

A委員）

児童・生徒への障がい者に対する理解を教育の中にとすることで1ページにあるのですが、いろんな事業をやってありますが、学校現場の中で障がい福祉に関する啓発・啓蒙というか、次の世代を担う子供たちに理解してもらうためにどのような活動を行っているのかお知らせいただければ。

B委員）

総合的学習の時間で、本校では3年生以上を対象に福祉学習を行っています。車いす体験、アイマスク体験、手話を教えていただいたり、目の不自由な方、足の不自由な方に実際にお越しいただき、子供たちに体験を通してご指導いただいています。ここ2、3年はコロナの関係で十分な活動は行えていませんが、このプログラムは学校としても子供たちに福祉学習の視点を設ける上で重要な役割を担っている活動と思っているので、今後も継続していきたいと思っています。

C委員)

関連して、社会福祉協議会は、市内7つの小学校の3、4年生を対象に、福祉教育を実施しています。社協の職員が学校に派遣されているのですが、合わせて今年は福祉教育のサポーター養成講座を2回ほど市内の皆さんに呼びかけまして、二十数名の方が応募いただき、最近2回のサポーター講習が終わっています。卒業された方々が今から7つの小学校に入っていくのに社協の職員と一っしょにサポーターとして付いて行っていただく準備ができています。これから具体的に小学校と打ち合わせをしながらですね。中身は福祉の関係とかボランティアとか障がいのある方についてもですね。社協の共同募金の事業の一環として実施してきています。サポーターを養成して一っしょに入っていくというのは新しい試みでして、若い方も講習を受けていただいておりまして、講習会は終わりましたが実際にどのくらい一っしょに入っていくのかというのが取り組みになります。

A委員)

身体障がいについてはアイマスクをしたり車いす体験をしたりとか、そのような体験というところでしょうが、知的障がいとか発達障がい、発達障がいの問題はこれから社会問題になっていくと思いますね。そういう部分は難しいところではあるんですが。施設の取り組みとして何かないですか？発達障がいを理解してもらうための取り組みが学校とコラボできればなど。

D委員)

発達障がいのお子さんであれば私たちが関わることが多いのは保育園や幼稚園なのですが、受入れの体制が少しずつできてきているのではないかとということで、保育園・幼稚園の先生方からの相談が増えたなと感じます。特に発達障がいのお子さんですね。理解はできるけど普段の生活の中で困るといったケースの相談が多く入ってきておりまして、実施計画の中で、保護者の希望があれば巡回相談して先生方にフィードバックする取り組みがありましたが、そのあたりが充実しているからこそ先生方がよりこの子にサポートが必要かなということで相談が増えてきているのかと思います。相談を受けている立場として、そこに市が一っしょに入っていただけると早期からお子さんのサポートや家族を含めた把握、周りのお子さん達の理解にもつながっていくんじゃないかと、私たちも含めて職員のお子さん方への関わり方がお子さんにすごく影響すると思うので、一っしょに勉強させていただくという意味でそこに少し市も一っしょに考えていただく機会が増えていくと、また充実してくるだろうなとここ数年感じるところです。

A委員)

やはりつながりというところでしょうね。いろんな情報をそこだけで止めるのではなく、いろんなネットワークのつながりの中から見えてくるというのがあると思います。

E委員)

私は知的障がいの子の親です。福岡市の取り組みで、保護者会がやっている知的障がい者体験プログラムというのがありまして、コロナ禍前は結構あちらこちらで声かけていただいていたいました。太宰府市の小学校でそういうプログラムを聞かれたことはありますか？

B委員)

私が今年度筑紫野市から来ましたので、前の情報は把握できていないです。

E委員)

筑紫野でもやっていたと思います。私も体験してとても良かったんですね。親として伝えてもらいたいことがとてもよく伝わるし、割とフランクに体験としても面白く体験できるのでやり方によっては学校でとか地域でとかいろいろやってまして、コロナになる前は本当にずっとやっていたんですが、いまコロナで止まっているけど、いま活動が始まっていますので是非福岡市の障がい者の親の会に問い合わせていただいて、是非お試しいただければと思います。

A委員)

他にありますか。

気付かれた時にはこちらの意見回答書がありますのでこれに書かれて、また次回の時にまた議題にあげていくということで、なかなか膨大な資料ですので、ご意見がありましたらこちらの方でお願いします。

では議題の2に進めさせていただきます。

太宰府市障がい福祉計画（第6期）及び障がい児福祉計画（第2期）の進捗状況について

説明

事務局)

（配布資料「太宰府市障がい福祉計画及び障がい児福祉計画進捗状況（令和3年度実績）」の内容について抜粋して説明）

意見

A委員)

短期入所が例年から比べると実績が今年度かなり落ちているところですが、令和2年度から比べるとそう無いんでしょうけど、計画値からするとかなり差があるのかなあと。放課後デイあたりは増えてますし、B型は増えているところなんですけど、ショートステイが計画値と差があります。何か要因があるのでしょうか。

事務局)

この表には無いのですが、その前の実績値で見ますと令和元年度とかはもうちょっと多かったようです。それを見込みながらこの計画を立てたのですがコロナの影響もあり、令和2年度に下がってきているところがございます。それからその状況が好転していないところではあります。その要因については深く分析をしていないというのが現状でございます。

A委員)

ショートステイを使われている方というのほどこの地域でもどちらかというと障がい児が多いと聞きますけど、やはり太宰府市もそんな感じですか。

事務局)

どちらという特色は無いと思っておりますが、やはりコロナ禍においてというのが令和2年度、3年度の利用者が少なくなった一番の要因かなと思っております。

A委員)

令和3年度から太宰府市も基幹相談支援センターを開設されたということで、そろそろ3年度の実績あたりの数値も出てくる頃かなと、基幹相談支援事業というのはこれから先の共生社会を作っていく中でも要になっていくところだと思いますので、そこら辺の実績の状況とか中身の分析がこの会の中で見えてくると次の視点が見えてくるのかなという感じがしていますので、お手数ですがよろしくお願ひします。

他にはございませんでしょうか。それでは同じように質問票がありますので、見られてお気づきの点がありましたら、書いていただければ次の会の話にできるかなと思っておりますのでよろしくお願ひします。

議題は以上になりますけどよろしいでしょうか。皆さんから総合的にご質問とかありませんでしょうか。特に無ければ、皆さんのご協力をおもちして議事が無事に終了いたしました。お礼申し上げます。

終了